

10月20日 日刊建設工業新聞

格取得支援スクール総合資格学院を運営する総合資格（東京都新宿区、岸隆司社長）は、16日に行われた1級建築施工管理技術検定の実地試験と宅地建物取引主任資格試験についての総評をまとめた。

1級建築施工管理技術検定の実地試験は、合格率が高かった昨年に比較すると難易度が上がったものの、しっかりと受験準備をしていれば、対応できたのではないかと評価。宅地建物取引主任者の試験では、権利関係で新傾向の問題が見受けられたものの、昨年よりも難易度は低かったのではないかと分析。昨年同様、合格基準はハイレベルになると予想している。

1級施工管理検定と
宅建主任試験で総評

総合資格

建設・不動産関連の資